

認知症介護指導者と市区町村行政との連携体制構築事業 報告書

- 認知症介護指導者（以下、指導者）は、国の認知症施策推進大綱において養成の目標値が掲げられており、認知症介護実践研修の講師を務める等、認知症施策の展開に貢献しています。
- 指導者は都道府県・指定都市による養成という構造上、市区町村行政と連携し活動を展開しているケースは少数にとどまっており、指導者が認知されておらず連携体制を構築できていないという状況も生まれています。
- 本事業は、**指導者に関する情報のアクセシビリティを高めるWEBページを認知症介護研究・研修センターのホームページDCnet上に構築し、もって市区町村行政担当者と指導者の連携体制を構築・推進することを目的に実施しました。**

対象と方法

【対象者】 調査実施までに認知症介護研究・研修センターを修了した指導者のうち、連絡先を把握できている **2,364名**

【調査】 ① **自記式の質問紙法**とし、回収はFAXによる返信とWEB回答の2種類で行いました。

質問項目（必須）氏名、氏名フリガナ、指導者として登録している都道府県・指定都市名
（任意）所属施設・事業所のある市区町村名、所属施設・事業所名、指導者研修の修了期
コメント（研修の担当科目や取り組んでいる活動など）

② 上記①の結果を踏まえて、**優良実践事例と判断された事例について、より詳細なヒアリングを実施し、DCnet上で公表**することとしました。

【調査期間】 令和元年11月26日～12月4日

【倫理的配慮】 調査協力は任意とし、収集した情報の目的外使用の禁止等について説明しました。調査協力の同意は調査の回答をもって代えることを明示し、所属施設・事業所名の公表に際しては、当該管理者の同意を得た上で判断するよう、文書にて回答者に促しました。

調査の結果

【回答数】

修了センター	回答者数	配布数	回収率
仙台	173	698	24.8
東京	231	897	25.8
大府	137	769	17.8
合計	541名	2,364名	22.9%

【公表者数】

n=541

市区町村名	507名 (93.7%)
所属施設・事業所名	477名 (88.2%)
指導者研修の修了期	517名 (95.6%)
コメント	232名 (42.9%)

【抽出した実践事例のテーマ】

- 認知症サポーター活性化に向けたロバ君倶楽部の活動について
- 認知症カフェ、認知症サポーター、ボランティア育成活動を有機的に組み合わせたソーシャルワーク実践
- 子どもたちと作る「認知症になっても大丈夫な街」
- 認知症初期集中支援チームにおける取り組み
- 認知症の人と子どもたちが楽しく過ごすためには
- 楽しみながら行う地域連携（品川区での地域における活動・ファーム・エイドを中心に）

都道府県・指定都市の担当者にメールで連絡しました。

- 認知症介護指導者一覧
https://www.dcnet.gr.jp/study/training/shido_list_search.php
- 認知症介護指導者活動事例紹介
<https://www.dcnet.gr.jp/study/leader/jirei.php>

☞ 指導者全体に本事業の意義が浸透し、登録数が増加するような良循環を生み出していきます。